

令和6年度 小中連携研修会のまとめ〔山下小、松原小、甲東中〕

1 令和6年度 甲東中グループ研究主題

不登校・中1ギャップ等の課題を解決するための小中連携を目指して

2 研究主題設定の理由

授業参観を通して、同じ中学校区内で学ぶ児童・生徒の実態を把握し、学習指導や生徒指導面における共通の課題を明確にし、共通実践を図ることにより小・中学校で系統的な指導を行うことができるようにする。

3 研究の視点

- (1) 確かな基礎学力の定着を図るための学習指導の在り方
- (2) 児童・生徒の発達の特性をふまえた生徒指導の在り方
- (3) 児童・生徒の自立や社会参加を目指すための特別支援教育の在り方
- (4) 「生きる力」を育むための教育課程の工夫・改善

4 研修会の内容

学力向上分科会	生徒指導分科会	特別支援教育分科会
<p>【協議内容・課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 学習態度、学習習慣を身に付けさせる。・ 学習のみにとどまらず、生徒指導との関連性がある課題がある。・ 個別最適な学び、協働的な学びを取り入れた授業づくりを行う。 <p>【共通実践事項】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 学び合いの時間を設定する。○ 黙想に取り組む。○ 学習環境を整える。	<p>【協議内容・課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 生活習慣の乱れが不登校に繋がるが多いため、家庭との連携を図る。・ ネット依存やSNSのトラブルを防ぐため、使い方の指導と共に家庭との連携を図る。 <p>【共通実践事項】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 不登校について保護者と連携しながら未然防止に努める。○ SNSの使い方について具体的な指導をする。	<p>【協議内容・課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 教員間の情報交換を密にし、正確な引継ぎを行う。・ 先を見通した中学卒業後の進路についての情報交換を行う。・ 小5からの中学校との交流会を実施する。 <p>【共通実践事項】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 学習内容を含めた個別支援の確実な引継ぎをする。○ 進路実現に向けての小・中間の情報共有を密にする。

5 成果と課題

- (1) 成果
 - 中学校の授業の様子を参観し、学習の流れやICT活用など確認することができ有意義であった。
 - 各学校とも共通した課題があることが把握でき、そこから共通実践事項を設定することができた。
- (2) 課題
 - 共通実践事項の取組状況を互いに確認し合い、継続した実践につながるよう工夫・改善する必要がある。